

# 埼玉佛教

平成22年7月 第183号

平成22年7月30日 発行  
 No.183  
 〒330-0063  
 さいたま市浦和区高砂4-13-18  
 財団法人 埼玉県佛教会  
 電話 (048) 861-2138  
 FAX (048) 864-6649  
 発行人 萩野 映明  
<http://saibutu.net>  
 印刷所 関東図書株式会社



秘法・柴燈護摩供養を厳修（鳩山町・金澤寺）

目次	
・萩野映明会長就任挨拶	2
・藤田得三前会長退任挨拶	2
・埼玉講話（第六回）	3
・第一回理事会／評議員会	
出欠一覧	4
平成21年度事業報告	5
財産目録・監査報告	6
正味財産増減計算書	
（一般会計）	7
（特別会計）	8
・支部だより	
・川島仏教会	9
・飯能地区佛教会	
・第25回各流讀佛歌奉詠大会	9
・梵字勉強会	9
・トビックス	
・埼玉県佛教会	
・公益法人・検討委員会	9
・藤田得三前会長慰労会	9
・会員寺院行事	
・柴燈護摩供養・火渡り	10
・「埼玉同宗連」	
・第31回研修会	10
・「埼玉同宗連」	
・第13回宗教講演会	11
・平和の祈り	11
・訃報	11
・事務局日誌	12
・編集後記	12

## 萩野映明会長 就任挨拶



### 『会長就任にあたり』

萩野映明（飯能・能仁寺）

この度、役員改選の機に際し、前会長の藤田得三老師から任期満了に伴い、会長職を辞したいとの意向を受けました。そして理事諸老師方より互選され、財団法人埼玉県佛教会会長の重責を担うこととなりました。

本会の活動目的は、埼玉県内寺院の連絡を密にし、県下佛教活動の推進、展開に努め、もって道心の高揚と教化の促進を図り、社会の浄化と文化の向上に

寄与することです。

これらの意識を高めるための基本方針と行動指針を表現するために『形直影端』という言葉を借りたいとおもいます。「形を整えれば、おのずと心がそれに向かう」というような意味です。

関係諸団体との連携推進と交流は、従来通り続けて参りますと共に、休眠支部寺院への働きかけを促進し、組織の連携強化を図りたいと考えています。これは現在検討を進めている公益法人制度改革の移行に関連するもので、組織構造の明確化と人事内容の改革が必要とされているからであります。

この機会をお借りし、退任された役員の皆様にご心より感謝申しあげ、敬意を表したいと思います。又新たに役員になられた会員諸大徳の皆様には、今後の新会館運営と発展にご理解、ご協力を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

## 藤田得三前会長退任挨拶



### 『合掌 聖名十念』

藤田得三（鴻巣・勝願寺）

肅啓 春陽天地に満ちる好季節の到来となり、会員の皆様方には、益々ご活躍のことと心よりお喜び申し上げます。

さて、私事、この度任期満了により財団法人埼玉県佛教会会長の職を退任させていただきます。在任中は公私にわたり、格別のご厚誼、ご厚情ならびにご鞭撻を賜り、誠にありがとうございました。在任中を振り返れば、一番の思い出は酒井文雄前会長のご指導の下に埼玉佛会館

再建の件が承認され、会員の方々の佛教伝道の使命感としてその賜である尊い浄財をご喜捨いただいたことに感謝申し上げます。

新会館建設に際しては、寺院建築・文化財建造物の設計監理の智慧の結晶であります、望月敬生先生のご指導・ご設計で工事が始まり、特に工事期間中は、近隣の方々の暖かいご協力のもとに再建が成りました。本当に感謝申し上げます。

後任会長には幅広い人脈をもつ能仁寺、萩野映明老師が就任されましたので、今後共何卒よろしくお願い申し上げます。

右取り敢えず御礼旁々ご挨拶申し上げます。

合掌（敬具）十念



# 埼玉講話 第六回

## 『尊き生命』

理事 山口 正純

(川口・密蔵院)

いと思つている人も決して死にたがつているのではない。むしろ、必死に生きよう、生きたいと思つている。

儒教の世界観に陋巷ろうこうといふ考え方が有る。陋巷とは、この世界の全てを指し、人は常に貧しく苦しんでいるとの認識の元、その中に於いて如何に幸福を自立させるか、又、そこには

国家、行政、人の手助けを求めず、頼らず、自らを助ける者しか助からないとする非常に厳しい認識。

マタイ伝には、蒔かれる種は決して耕かされた豊かな大地だけではなく茨の中、岩、固い大地と人生平穏な道のみではないことを示し、更には、法句経三〇八番に「身につつしみなくして國の施物を食ふことなからん」。同二三六番には「汝、おのれの燈となれ、すみやかにい

「人はどうして死にたがるのか」。ものの本に依ると死にた

今日(五月三十日)、何気なくテレビのスイッチを入れたら韓国の人気俳優パク・ヨンハ氏が自殺したとの報道がなされていた。彼は日本で爆発的ヒットを記録した「冬のソナタ」の共演者。どうして：その原因は：とコメントイター達が驚あましい。売れっ子俳優として、又事業家。更に、父親が末期の癌患者で自宅療養中とあり、長男として俳優として超多忙。充分に看護できないという儒教的思想に依る罪悪感等々精神的疲労による衝動的行動か。家族、親戚、ファンを巻き込んだ悲愴。

そしみて賢き者となるべし」と記されている。そして、長部教典には「自らを燈とし自らを依り所とし、他を依り所とせず、我が教えたる法と律とは我が亡き後には汝らの師なり」とあり、誠に精進努力、そして自立、自律を説かれた佛祖の金言であります。こうした厳しき思惟のもと、法句経一八二番には「人の生を受くるは難しく、やがて死すべきものの今生命あるは在り難し」と。

誠に誠に今生命有ることは何者にも代え難く有難く、この尊い生命を最大限生かすことを我々は求めていきたい。

(※)『草原の風』宮城谷昌光  
著書より抜粋



曹洞宗 清涼山 曹源寺

住職 中村 瑞峰

〒355-0015 東松山市本町1-5-3  
電話・FAX 0493-22-0099

天台宗 地福寺

住職 鎌田 良昭  
副住職 鎌田 観良

〒351-0101 和光市白子2-18-1  
電話 048-461-2032



## 平成22年度 第1回理事会・第1回評議員会

去る5月26日(水)、埼玉会館において、平成22年度第1回理事会並びに第1回評議員会が開催された。出席者は下記の出欠一覧を参照。平成22年度の事業報告、決算が審議され、別掲の通り承認された。また、平成22・23年度の役員改選が行われ、新役員が選出された。(同封別紙参照)

### 出欠一覧

(○出席者、△委任状、□代理、敬称略・順不同)

会 長	○	藤田 得三	[鴻 巢・勝 願 寺]				
副 会 長	○	萩野 映明	[飯 能・能 仁 寺]	○	木村 盛雄	[所 沢・持 明 院]	
専 務 理 事	○	深谷 雅良	[入間東部・大 應 寺]				
常 務 理 事	△	穂山 教雄	[菖 蒲・妙 福 寺]	○	加藤 玄静	[本 庄・城 立 寺]	
	△	杉村 良哉	[八 潮・観 音 寺]	○	倉持 秀裕	[蔵・戸 田・三 学 院]	
理 事	○	白石 通昭	[東 松 山・清 見 寺]	△	山口 正純	[川 口・密 蔵 院]	
	○	蓮見 行全	[菖 蒲・正 法 院]	△	糸原 恒久	[川 越・蓮 馨 寺]	
	△	中井 隆吾	[秩 父・光 明 寺]	○	河野 亮玄	[浦 和・東 泉 寺]	
	○	坂本 良光	[深 谷・妙 光 寺]	△	後藤 文章	[蔵・戸 田・宝 樹 院]	
	○	嵩 海雄	[東 松 山・了 善 寺]	○	佐瀬 英雄	[北 秩 父・洞 昌 院]	
	△	石井 知章	[越 谷・浄 山 寺]				
監 事	○	吉田 淳一	[川 口・弁 護 士]	○	井倉 賢照	[鷺 宮・寿 徳 寺]	
	○	河野 亮仙	[浦 和・延 命 寺]				
顧問税理士	○	伊澤 愛子					
評 議 員	△	小島 良雄	[浦 和・医 王 寺]	△	木本 清玄	[大 宮・福 正 寺]	
	△	佐々木 妙修	[与 野・妙 行 寺]	□	尾辻 正純	[川 口・長 昌 寺]	
	○	穂積 容山	[鴻 巢・龍 昌 寺]	△	稲田 碩哉	[上 尾・楞 巖 寺]	
	△	中村 信行	[蔵・戸 田・平 等 寺]	△	永長 海晃	[朝 霞・妙 典 寺]	
	△	根岸 洋明	[北 本・多 聞 寺]	○	別所 隆雄	[伊 奈・法 光 寺]	
	□	野口 孝之	[吹 上・宝 蔵 院]	○	實淨 龍彦	[川 越・栄 林 寺]	
	○	荒泉 盛憲	[所 沢・東 福 寺]	○	有馬 壽雄	[飯 能・龍 泉 寺]	
	△	野本 亮廣	[狭 山・廣 福 寺]	○	幡谷 玄秀	[入 間・東 光 寺]	
	○	鷺田 禎彦	[入間東部・徳 性 寺]	○	近藤 正晴	[坂戸・鶴ヶ島・法 音 寺]	
	△	安西 昌道	[越生・毛呂山・法 恩 寺]	△	中村 瑞峰	[東 松 山・曹 源 寺]	
	△	小林 元秀	[小川連合・圓 光 寺]	△	森下 隆夫	[護 法・宗 心 寺]	
	○	佐藤 眞立	[川 島・大 安 寺]	△	森田 真隆	[都 幾 川・全 長 寺]	
	△	植木 隆昌	[鳩山・玉川・西 福 寺]	△	井上 卓也	[吉 見・明 王 院]	
	△	五十嵐 英弘	[小 鹿 野・十 輪 寺]	○	町田 廣文	[秩 父・廣 見 寺]	
	△	篠塚 秀文	[児 玉・龍 泉 寺]	△	上山 真梧	[本 庄・泉 林 寺]	
	△	光栄 純映	[深 谷・圓 能 寺]	△	福田 隆行	[熊 谷・一 乘 院]	
	○	西村 良範	[妻 沼・福 生 寺]	○	坂田 哲朗	[荒 南・真 光 寺]	
	△	岩佐 宗貴	[行 田・高 源 寺]	△	齊藤 隆雄	[寄 居・西 念 寺]	
	△	斎籐 行弘	[羽 生・千 眼 寺]	△	片山 秀丈	[加 須・光 明 寺]	
	○	床井 智弘	[春日部・無 量 院]	○	上村 正剛	[岩 槻・彌 勒 密 寺]	
	○	鷺津 憲道	[越 谷・観 照 院]	○	丹羽 尊照	[草 加・西 願 寺]	
	○	榎本 賢隆	[三 郷・光 福 院]	○	中井 省悟	[久 喜・東 雲 院]	
	○	今井 康隆	[幸 手・聖 福 寺]	○	島崎 英種	[蓮 田・天 照 寺]	
	△	矢部 玄道	[白 岡・寿 楽 院]	○	今野 泰男	[宮 代・医 王 院]	
	△	仁部 前明	[杉 戸・上 原 寺]	○	山岡 武秀	[鷺 宮・広 福 院]	
	○	津島 英世	[吉 川・延 命 寺]	○	宮本 敏雄	[松 伏・東 陽 寺]	
	△	石垣 源順	[栗 橋・深 廣 寺]	○	清水 永信	[庄 和・明 清 寺]	
	□	田口 峰道	[八 潮・長 安 寺]				
顧 問 参 事	△	酒井 文雄	[秩 父・源 蔵 寺]				
	△	勝山 良盛	[庄 和・延 命 院]				
務 局	○	金子 嘉広	○ 北之内由紀子 ○ 小池康宏				

[ ] 内は支部名・寺院名

【理 事 出席12名・委任状7名 合計19名/現数19名】  
 【評議員 出席28名・委任状27名 合計55名/現数55名】

## ● 平成21年度 事業報告 ●

【平成21年4月1日～平成22年3月31日】

## 平成21年

期 日	事業内容	会 場
4月7日	金田石城「みほとけの宇宙展」	埼玉会館
12日	第1回 埼玉佛教文化講座(座談会) 演題:『佛心と芸術』/ゲスト:金田石城師、聞き手:萩野映明副会長	埼玉会館
14日	「埼玉同宗連」総会	埼玉会館
16日	「埼玉宗連」理事会	埼玉会館
5月15日	県佛監査会	埼玉会館
	第1回 埼玉会館運営委員会	埼玉会館
18日	「全仏」監査会	全日本仏教会明照会館
22日	更生保護法人清心寮理事会	更生保護法人清心寮
26日	第1回 理事会/第1回 評議員会 役員研修会(大和証券) 演題:『社会状況の変化とお寺のあり方』/講師:井上文夫氏(日本テンプルヴァン)	埼玉会館
6月8日	「埼玉同宗連」第29回 研修会 演題:『部落史に学ぶ人権教育—歴史と現代』/講師:吉田 勉氏	埼玉会館
20日	日本語検定	埼玉会館
25日	第1回 公益法人制度改革移行方針検討委員会 第1回 執行部会	埼玉会館
7月1日	「全仏」都道府県仏教会 代表者会議(～2日)	輪王寺(栃木県日光市)
8日	「埼玉宗連」第12回 講演会 演題:『親の心・子の心』/講師:松本 滋氏(天理教埼玉教務支庁)	天理教埼玉教務支庁
9日	第2回 埼玉会館運営委員会	埼玉会館
13日	公益法人実務研修会	市民会館大宮大ホール
21日	「埼玉宗連」平和の祈り	カトリック川越教会
8月24日	教化委員・奉詠大会合同打合せ会議	埼玉会館
26日	北部支部長会	廣見寺(秩父)
30日	「埼玉宗連」研修旅行(～31日)	恐山・松緑神道大和山・弘前(青森県)
9月2日	第3回 埼玉会館運営委員会 第2回 執行部会	埼玉会館
10日	第61回 埼玉県各流讀佛歌奉詠大会	埼玉会館大ホール
17日	関東甲信越静地区宗教法人研修会	つくば市(茨城県)
10月7日	第31回 埼玉県佛教徒大会	秩父宮記念市民会館
22日	第4回 埼玉会館運営委員会 第2回 公益法人制度改革移行方針検討委員会	埼玉会館
11月8日	第5回 埼玉会館運営委員会 第3回 公益法人制度改革移行方針検討委員会 歳末助け合い共同募金会寄付	埼玉会館
12月9日	「埼玉同宗連」狭山現地学習会 演題:『狭山事件に見る冤罪の構造』/講師:庭山英雄弁護士、石川一雄氏	富士見集会所

## 平成22年

期 日	事業内容	会 場
1月12日	部落解放同盟埼玉県連旗開き	熊谷ガーデンパレス
18日	「埼玉宗連」新年懇親会	うらわ高砂
22日	新春埼玉県宗教者の集い	浦和ロイヤルパインズホテル・ゴールドルーム
2月9日	宗教法人研修会(学事課・埼玉県宗教連盟主催)	埼玉会館
10日		熊谷地方庁舎
16日	公益移行勉強会(公益法人制度改革移行方針検討委員会) 講師:大和総研 主任研究員 市川拓也氏 開催協力:大和証券	埼玉会館
17日	第2回 埼玉佛教文化講座「精進料理ノススメ」 演題①:『健康に通じる食生活』講師:白澤雪俊師(曹洞宗普門院副住職・弘前市) 演題②:『菜食が世界を救う』講師:吉良さおり氏(ベジィー・ステディー・ゴー編集長)	埼玉会館
3月8日	財務委員会/教化委員会	埼玉会館
9日	組織委員会/総務委員会	埼玉会館
10日	第6回 埼玉会館運営委員会 第4回 公益法人制度改革移行方針検討委員会	埼玉会館
24日	公益移行勉強会(公益法人制度改革移行方針検討委員会) 講師:朝日ビジネスソリューション	埼玉会館
26日	第2回 理事会/第2回 評議員会 会員寺院研修会(野村証券) 演題:『宗教法人を取り巻く環境変化と検討課題』講師:塚崎智志氏	埼玉会館

■ 機関紙「埼玉佛教」発行 No.178～181

■ 高齢者交通事故防止対策推進ならびに振り込め詐欺対策(埼玉県警と協働)

□ 全日本仏教会 行事参加

□ 「埼玉同宗連」関連事業参加(総務委員)・人権政策確立要求埼玉県実行委員会会長

□ 埼玉県宗教連盟 行事参加

## ● 財 産 目 録 ●

平成22年3月31日現在

(単位：円)

資産の部		負債および正味財産の部	
<b>1 流動資産</b>	[ 10,091,341]	<b>1 負債の部</b>	
(1) 現 金	( 173,994)	1. 流動負債	[ 7,141,161]
ア 一般	115,048	(1) 預り金	147,410
イ 特別 (収益)	58,946	(2) 前受金	513,000
		(3) 未払金	6,410,751
		(4) 未払法人税等	70,000
(2) 普通預金、貯金	( 9,877,347)	2. 固定負債	[ 2,300,000]
ア 武蔵野銀行 (一般)	1,436,805	(1) 預り敷金	2,300,000
イ 武蔵野銀行 (特別)	1,759,045		
ウ 武蔵野銀行 (建設会計)	31		
エ 埼玉りそな銀行 (特別)	6,663,676		
オ みずほ信託銀行 (一般)	690		
カ ゆうちょ銀行 (一般)	2,180		
キ 郵便振替 (一般)	14,920		
(3) 未収入金	( 40,000)		
<b>2 固定資産</b>	[ 403,396,434]		
(1) 基本財産	( 343,438,181)		
ア 土地	125,623,575		
イ 建物	226,787,941		
ウ 減価償却累計額	△ 12,473,335		
エ 定額貯金(ゆうちょ銀行)	3,500,000		
(2) 有形固定資産税	( 57,412,136)		
ア 建物	3,730,189		
イ 付属設備	67,923,450		
ウ 構築物	13,027,213		
エ 什器備品	9,221,576		
オ 減価償却累計額	△ 36,490,292		
(3) 無形固定資産	( 228,750)		
電話加入権	228,750		
(4) 定期預金	( 2,317,367)		
埼玉県信用金庫	2,317,367		
<b>資産の部合計</b>	<b>413,487,775</b>	<b>負債の部合計</b>	<b>9,441,161</b>
		<b>2 正味財産の部</b>	
		正味財産	404,046,614
		(うち基本財産)	( 343,438,181)
		<b>正味財産の部合計</b>	<b>404,046,614</b>
		<b>負債および正味財産の部合計</b>	<b>413,487,775</b>

## ● 監 査 報 告 ●

財団法人埼玉県佛教会 定款第12条の規定により、平成22年5月20日 埼玉県佛教会事務局において平成21年度事業報告書、財産目録、貸借対照表、正味財産増減計算書、関連諸帳簿、証憑書類等の提示を求め、財産並びに理事の業務執行状況について所定の監査を実施しました。

その結果、その財源その用途及び当該年度末における財政状態が適正に表示されており、また理事の業務執行状況についても適正に行われ、それらは合法かつ正確であると認めました。よって財団法人埼玉県佛教会定款第19条の定めるところにより、ここに報告いたします。

平成22年5月26日

監事 吉田 淳一 ㊞  
 監事 井倉 賢照 ㊞  
 監事 河野 亮仙 ㊞

## ● 正味財産増減計算書（一般会計） ●

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

(単位：円)

科目	21年度	20年度	増 減	備 考
I. 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
ア 埼玉佛会費	13,160,000	13,892,000	△ 732,000	@8,000円 うち過年度分32,000円
イ 事業収入	5,256,000	5,344,200	△ 88,200	
奉詠大会費	2,109,000	2,070,000	39,000	灯明料@2,000円×952名、広告料16万円、祝儀45,000円
佛教徒募金	3,147,000	3,274,200	△ 127,200	
ウ 特別会計繰入金	1,832,367	286,645	1,545,722	特別会計「寄付金」より
エ 基本金利息	37,074	31,373	5,701	
オ 雑収入	157,126	171,324	△ 14,198	代理店手数料他
カ 賛助金	221,000	361,800	△ 140,800	灯明料、年賀広告12万円
キ 事務受託収入	1,500,000	1,500,000	0	宗連、佛保、同宗連
ク 会館建設特別会計	405,000	9,267,511	△ 8,862,511	宮代（青林寺、寶生院、遍照院）寄付
経常収益計	22,568,567	30,854,853	△ 8,286,286	
(2) 経常費用				
ア 事業費	5,960,877	5,421,805	539,072	
奉詠大会費	2,433,160	2,236,543	196,617	9月10日 第61回大会 埼玉会館
県佛大会補助	1,000,000	1,000,000	0	10月7日 第32回大会 秩父宮記念市民会館
支部助成金	210,000	270,000	△ 60,000	支部講演会、支部行事、1行事@3万円(年1回限り)
広報費	1,397,000	1,367,032	29,968	機関紙「埼玉佛教」4回発行、ホームページ、関連団体広告
研修・交流費	460,717	148,230	312,487	関連団体研修等参加、金田石城展、仏教文化講座
育成費	460,000	400,000	60,000	佛青、佛保、佛婦
イ 運営費	22,038,842	27,465,936	△ 5,427,094	
給料・手当	3,975,000	4,800,000	△ 825,000	2名分 *
退職金	1,123,582		1,123,582	
報酬・賃金	217,000	811,485	△ 594,485	アルバイト賃金、残業手当等
租税公課	2,500,000	2,503,282	△ 3,282	固定資産税 *
保険料	134,934	164,139	△ 29,205	火災保険、傷害保険 *
福利厚生費	136,515	282,975	△ 146,460	あんしん財団、ヤクルト *
旅費	626,180	550,190	75,990	職員旅費
会議費	564,037	729,222	△ 165,185	理事、評議員会諸費用
報償費・旅費	1,086,400	1,297,950	△ 211,550	役員旅費
光熱水費	1,169,363	1,121,825	47,538	電気、ガス、水道 *
印刷費	157,310	377,706	△ 220,396	名刺、領収書、封筒他
書籍費	118,005	116,420	1,585	新聞雑誌購読料、書籍購入費
消耗品費	600,688	673,204	△ 72,516	コピー用紙、文具、会館維持管理他 *
電話料・郵便料	724,825	661,293	63,532	電話、郵便料、運賃、振込手数料、ジェイコム(インターネット) *
賃借料	852,180	906,150	△ 53,970	事務機器リース料、印刷機保守サービス料 *
交際費	34,583	18,836	15,747	
中退共掛金	185,834	240,000	△ 54,166	職員退職金積立 *
減価償却費	7,352,021	11,642,713	△ 4,290,692	*
慶弔費	320,000	426,505	△ 106,505	
雑費	160,385	142,041	18,344	送金手数料、輪袈裟104本
ウ 負担金等	3,995,600	4,149,880	△ 154,280	
全仏負担金	650,000	650,000	0	
埼玉県宗教連盟	350,000	350,000	0	
埼玉同宗連	60,000	165,000	△ 105,000	
支部交付金	1,235,600	1,284,880	△ 49,280	佛教徒募金収入の4割還付
埼玉県教誨師会	100,000	100,000	0	
更生保護法人「清心寮」	300,000	300,000	0	
歳末助け合い	600,000	600,000	0	共同募金会(うち「清心寮」へ指定寄付金50万円)
善意銀行	600,000	600,000	0	
全青協議会	100,000	100,000	0	
経常費用計	31,995,319	37,037,621	△ 5,042,302	
当期経常増減額	△ 9,426,752	△ 6,182,768	△ 3,243,984	
当期一般正味財産増減額	865,200	5,349,866	△ 4,484,666	
資産の受入	865,200		865,200	
会館特別会計より資産受入		5,349,866	△ 5,349,866	
当期一般正味財産増減額	△ 8,602,309	△ 7,023,958	△ 1,578,351	
特別会計(収益)減価償却	△ 8,602,309	△ 7,023,958	△ 1,578,351	
当期一般正味財産増減額	△ 17,163,861	△ 7,856,860	△ 9,307,001	
一般正味財産期首残高	423,579,009	431,435,869	△ 7,856,860	
一般正味財産期末残高	406,415,148	423,579,009	△ 17,163,861	

\*印は、一般会計と特別会計に按分している科目です。



## ● 正味財産増減計算書（特別会計） ●

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

(単位：円)

科 目	21年度	20年度	増 減	備 考
I. 正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
貸 事 務 所	8,354,400	7,536,000	818,400	埼玉ワンダー社、河合楽器、浄土宗、全日、タカマツ、緑化計画
駐 車 場	2,400,400	2,382,200	18,200	
施 設 利 用 料	570,000	342,000	228,000	会議室貸出分
雑 収 入	36,219	1,063,141	△ 1,026,922	代理店手数料、預金利息
経 常 収 益 計	11,361,019	11,323,341	37,678	
(2) 経常費用				
給 与 ・ 手 当	4,045,300	5,000,000	△ 954,700	3名分 *
顧 問 料	595,000	595,000	0	税理士顧問料
管 理 費	1,177,918	1,604,041	△ 426,123	全日管理、ゴミ手数料、モップ交換他 *
福 利 厚 生 費	104,404	59,500	44,904	常備薬、飲物代、あんしん財団 *
光 熱 水 費	113,260	201,208	△ 87,948	電気、水道、ガス *
消 耗 品 費	83,638	167,953	△ 84,315	文具、チャージ料 *
電 話 ・ 郵 便 料	155,277	106,165	49,112	電話、ジェイコム(インターネット)、会議室案内 *
賃 借 料	156,870	156,870	0	事務機器リース料 *
交 際 費	28,742	17,935	10,807	地元自治会寄付金他
保 険 料	192,984	199,779	△ 6,795	火災保険、職員保険 *
雑 費	38,958	42,997	△ 4,039	残高証明、送金手数料、NHK視聴料
備 品 ・ 修 理 費	881,181	0	881,181	3F 間仕切り他
中 退 共 掛 金	92,916	240,000	△ 147,084	職員退職積立 *
減 価 償 却 費	8,602,309	7,023,958	1,578,351	
租 税 公 課	2,499,900	2,501,783	△ 1,883	固定資産税 *
寄 付 金	1,832,367	286,645	1,545,722	一般会計「特別会計繰入金」へ
経 常 費 用 計	20,601,024	18,203,834	2,397,190	
当 期 経 常 増 減 額	△ 9,240,005	△ 6,880,493	△ 2,359,512	
2 経常外増減の部				
法 人 税 住 民 税	△ 70,000	△ 70,000	0	
有 形 固 定 資 産 除 却 損	0	0	0	
当 期 経 常 外 増 減 額	△ 70,000	△ 70,000	0	
当 期 特 別 正 味 財 産 増 減 額	△ 9,310,005	△ 6,950,493	△ 2,359,512	
減 価 償 却 額	8,602,309	7,023,958	1,578,351	
特 別 正 味 財 産 期 首 残 高	△ 1,660,838	△ 1,734,303	73,465	
特 別 正 味 財 産 期 末 残 高	△ 2,368,534	△ 1,660,838	△ 707,696	

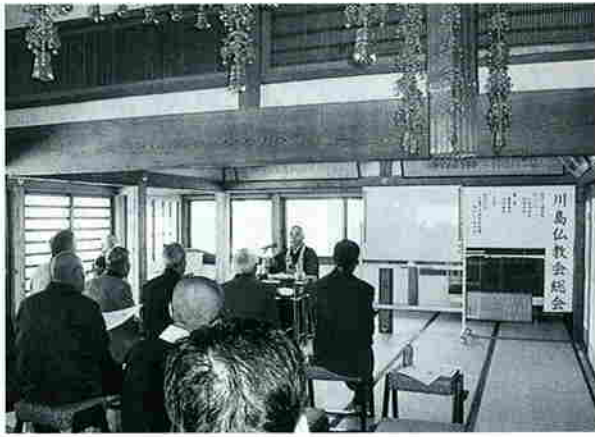
\*印は、一般会計と特別会計に按分している科目です。



# 支部だより

## ▼川島仏教会

平成22年6月5日(土)、川島仏教会総会が、大聖寺(小谷野禎正住職)を会場として開催された。総会行事終了後、久喜市の不動寺住職、福田令由師を講師にお招きし、記念法話が行われた。



(報告・川島支部長・佐藤貞立)

## ▼飯能地区佛教会 第25回各流讃佛歌奉詠大会

平成22年6月11日(金)、飯能地区佛教会(会長・有馬壽雄師)主催・第25回各流讃佛歌奉詠大会が飯能市市民会館にて開催された。狭山市慈眼寺住職、西村宗洋師(梅花流特派二級師範)をお招きし講評をいただいた。参加講は飯能地区佛教会所属の15講、総勢155名の講員により盛会裡に終了することができた。



※報告：今大会における助け合い募金総額は25、165円。募金は、歳末助け合い運動托鉢募金と合わせ、飯能、日高各市の社会福祉協議会を通して福祉事業に活用いただく。

## ▼浦和仏教会・埼佛青 梵字勉強会

去る7月5日(月)、さいたま市南区の真弘寺(本間照常住職)において、浦和仏教会(会長・鎌田亮宣師)、埼玉県佛教青年会(会長・淤見善雄師)主催の『第21回梵字勉強会』が初回からご指導いただく種智院大學教授の児玉義隆師を迎え開催された。参加者は10名。



参加者は各々、題材を設定して、練習に励んだ。その場で児玉先生に手本を書いていただいたり、先生がお持ちになった作品を模写する姿も。この勉強会では、初めての参加者にも先生から個別に指導していただける。一度も参加されなかった方も是非、次回開催時にはご参加を。

# トピックス

## ●埼玉県佛教会

### 「公益法人制度改革 移行方針検討委員会」

平成22年6月30日(水)、第6回公益法人制度改革移行方針検討委員会が開催された。少くとも年度内に移行方針を固め、来年度中には申請手続きを進める予定である。また委員会内には作業部会を発足させ、移行に伴う組織構成変更も慎重に検討を進める。

### 「藤田得三前会長慰労会」

平成22年6月30日(水)、さいたま市内にて、『藤田得三前会長慰労会』が開催された。藤田得三師は、昭和62年6月に鴻巣支部長に就任。監事、理事と続き、副会長を歴任後、平

成20年に会長就任。二期二年間  
会長を務められた。平成十五年  
からの会館建設にあたっては、  
建設委員長として、新埼玉佛会館  
竣工に寄与された。23年間の永  
きにわたり、本会発展の為にご  
尽力いただいた。

慰労会  
では、後  
任の萩野  
映明新会  
長から感  
謝状と記  
念品が贈  
呈された。



### ● 会員寺院行事

#### 柴燈護摩供養・火渡り

##### 鳩山町・金澤寺

平成22年年5月5日(水)、夏  
を感じさせる強い日差しの下、  
鳩山町の金澤寺にて花祭りが開  
催され、禅寺(曹洞宗)では珍  
しい護摩供養と火渡りの儀式が

厳修され  
た。住職  
の宮寺守  
正師は全  
日本佛教  
青年会の  
理事長を  
務めてい  
る。この  
日は、超



宗派の僧侶数名により行われ、  
一般参拝者の注目を集めた。  
本堂前で法要を行った後、ほ  
ら貝の音を響かせながら、境内  
の一角に特別に設けられた結界  
に場所を移し、護摩の秘法を修  
した。その後、積み上げられた  
薪に火が点けられると、濃い煙  
と共に火焰が天高く立ち昇った。  
祈願者それぞれの想いが込めら  
れた護摩木がくべられると、よ  
り一層火の勢いが強くなった。  
祈念によって『浄火』となった  
炎の上を僧侶達が素足で渡り、  
続いて一般の方々も自らの心願  
成就を祈りながら渡った。来年

も同日に行われる予定となつて  
いる。

### ● 「埼玉同宗連」

#### 「第31回研修会」

平成22年6月9日(水)、第31  
回「埼玉同宗連」研修会が埼玉佛  
会館にて開催された。講師は奈  
良県御所市西光寺(浄土真宗本  
願寺派)副住職の清原隆宣師。  
先生は、全国水平社設立の中心  
人物である西光万吉(本名清原  
一隆)氏の甥にあたる。「人の  
世に熱と光を」をテーマに、あ  
つという間の90分であった。



### 会員寺院 (一般) 勸募報告

ご協力に衷心より  
感謝申し上げます

《宮代支部》

青林寺 135,000円  
寶生院 135,000円  
遍照院 135,000円

ご報告が遅れました。  
お詫び申し上げます。

日本の原点 祝祭の年  
平城遷都1300年祭  
～「奈良の寺社」を巡る旅～

団参は、弊社にお任せください。

旅行代理店 株式会社 **オーシャン・トラベル**

TEL.03-3984-0891 FAX.03-3984-0639

E-mail: o-cean@chive.ocn.ne.jp

東京都知事登録第2-2237号 取扱主任者 佐野文也





平成22年6月12日(土)、第13回『埼玉宗連』宗教講演会が天理教埼玉教務支庁を会場に開催された。『人生の後半戦を豊かに生きる』をテーマに、臨床心理士の資格を持つ、聖学院大学准教授・藤掛明氏が講演した。参加者は各教宗派より80名。

「第13回・埼玉宗連宗教講演会」

●埼玉県宗教連盟

平和の祈り



平成22年7月20日(火)、川越市にあるカトリック川越教会にて『埼玉宗連』平和の祈りが開催された。仏教、キリスト教、神道、新宗教の各加盟団体が一堂に会し、各団体が世界平和実現を願い、祈りを捧げた。

訃報

謹んでお悔やみ申し上げます。

平成二十一年十二月

14日 ふじみ野市徳性寺(天台)

鷺田 敏一 師(77歳)

平成二十二年三月

10日 戸田市常福寺(浄土)

渡邊 英昭 師(79歳)

四月

4日 熊谷市保泉寺(曹洞)

福田 哲雄 師(84歳)

(前荒南支部長)

17日 越谷市一乗院(智山)

今井 永行 師(80歳)

26日 川越市萬久院(曹洞)

傘松 祐三 師(75歳)

さいたま市最勝寺(本願)

中川 宣正 師(78歳)

六月

8日 久喜市深廣寺(浄土)

石垣 源順 師(84歳)

(栗橋支部長・元常務理事)

(「埼玉同宗連」元議長)

鉢形山 城立寺

厄除本庄薬師如来  
開運大黒尊天

住職 加藤 玄静

〒367-0052 本庄市銀座3-4-7

TEL 0495-24-5544

FAX 048-294-8938

財団法人 埼玉県佛教会

会長 萩野 映明

自坊：天覧山麓 武陽山能仁寺(曹洞)

〒357-0063 飯能市飯能1329

TEL 042-973-4128

FAX 042-974-5346



事務局日誌

平成二十二年（二〇一〇年）

児を授かるのか」／埼玉県  
教育委員会委員長 松居  
和氏

四月

- 5日 「埼玉保」理事会
- 12日 「埼玉連」第一回理事会
- 14日 「埼玉同宗連」

第一回役員会／総会  
／デジタル資料作成委員

会

- 22日 事務局会
- 23日 機関紙『埼玉佛教』発送
- 27日 「埼玉青」写仏／執行部

会

五月

- 11日 第一回執行部会
- 17日 「埼玉青」総会
- 19日 「埼玉青」写仏
- 20日 県佛会計監査
- 24日 「埼玉保」会計監査
- 26日 第一回理事会／評議員会
- 29日 「埼玉保」総会／春季研

修会

演題「なぜ私たちは0歳

六月

- 9日 「埼玉同宗連」役員会
- ／第31回研修会／デジタ
- ル資料作成委員会
- 12日 「埼玉連」第13回宗教講

演会

- 演題「人生の後半戦を豊
- かに生きる」ー心理カウ
- ン
- セラーから見た心の風景ー
- ／聖学院大学准教授 藤掛
- 明氏

- 15日 「埼玉青」写仏教室
- 30日 第6回公益法人検討委員

会／藤田得三前会長慰労会  
「うらわ高砂」

七月

- 5日 「浦和仏教会」
- 「埼玉青」梵字勉強会
- 6日 「埼玉青」写仏教室
- 20日 「埼玉連」平和の祈り

「川越カトリック教会」

第62回埼玉県各流讃佛歌

奉詠大会

とき・平成22年9月9日(木)

午前9時10分 開場

午前9時40分 開会

ところ・埼玉会館 大ホール

編集後記

梅雨が明け、一気に夏らしい  
猛暑、蒸されるように暑い日々。  
一番暑くなる時期：：暦の上で  
は立秋。一番暑くなる時期を秋  
の始まりとしているのは、暑さ  
の峠を越えさえすればあとは涼  
しくなるだけ、暑さがあるから、  
涼しさを感じられ、暑さの衰え  
始めるところに、秋が生まれて  
来る：：という陰陽五行の考え  
方が根底にあります。立秋以降  
はどんなに暑くても、涼しくな  
るまでの「残り」、すなわち「残  
暑」ととらえられます。

(鯉)

真言宗智山派

密蔵院 山口 正純

〒334-0057 川口市安行原2008

TEL 048-296-0774

FAX 048-294-8938

http://www.mituzoin.jp

蓮馨寺

住職 糸原恒久

〒三五〇〇〇六六

川越市連雀町七一

TEL 〇四九二三二〇〇四三

FAX 〇四九二三六〇六七六

毎月八日 縁日

毎月第四日曜 写経会

吞龍上人祈願所

浄土宗檀林霊場会